



電子版 “ロダン・タイムズ”



FMを聴こう

9号

FMは、音楽もよし、トークもよし

リスナー相談の回答にびっくり

勇気と 愛を 感じました。

(その1) 進路相談に、あまりに **ズバツ** とした回答でした。



最近車は運転しながらFMを聴くようになりました。

FMは音楽を聴くのも良いですが、相談トークの凄い番組があります。

11月18日日曜日、夜(おそらく10時頃)、高校三年生からの質問です。

「就職試験を二回落ちました。原因は面接試験だと思いますが**ざんねん**です。

学校の先生は、進路を専門学校と変更するように進めてくれますが、

母親代わりに育ててくれた祖母を早く安心させるためにも就職を希望します。

そこで、面接試験のコツがあったら教えてください。」

番組の回答者は、面接試験を受けられなかった人の実話を話し出した。

その人は、待ち合わせ会場の体育館で「お帰りください」といわれたそうです。

他の人は、体育館の中央の椅子にじっと座り、移動のかけ声を待っていた。

面接試験のための移動までの間、問題のその人は体育館の隅(壁)に、

何と、ズボンのポケットに手を入れた状態で独り立って待っていたそうです。

面接試験は、何も試験の時だけでなく、その会場に入ってから始まっている。

学校や、就職スクールで、挨拶の仕方やお辞儀の角度を学んで、面接試験に

臨んでも、これでは受からない。(第一弾ズバツと)

試験官は、採用しない理由を探しているからとも言われました。

（その2）相談者にも、ズバツと。

さて、相談者へもズバツとした愛のムチコメントをされました。

まずは、質問の文章中、「ざんねん」とひらがな表記されている点から、

書いた文章は読み直し、「残念」の漢字くらいは書くようにと叱ります。

次に、面接試験とは、自分が高校3年間でどう成長したかを見てもらうことで

あって、面接試験のコツを教えてもらおうとすることは、面接試験の時だけ

良ければと考えていた体育館（集合の態度）までの生徒と変わらないとも。

（FMPORT、11月18日 日曜日 番組NIGHT i（ナイトアイ）愛の保健室）

（運転しながら聴いていたため、番組内容の要旨を記憶により書きました。）

（その3）相談者は、コメンテーターに感謝をされていて欲しい。

ニュースでも、この時期には、何社もの試験を受けている人が放映されます。

就活高校生への切実な相談には、やさしい言葉で励ますことが一般的です。

しかし、親でも言わないような物事の本質を教える番組にコメンテーターの

勇気と、愛情を感じました。

私も含め、このロダン・タイムズを見ている方の多くは、事業主又は、管理職

の方です。人を雇う（使う）立場の方からみれば、

「当然なことだが、よくぞ言ってくれた。」となります。

私の経験を振り返っても、就職試験をここまで考えていたとは言えません。

この質問の高校生が、きっと大人になって人を雇う（使う）立場になると、

分かることでしょう。

高校生には、今、全部理解できなくても、人の忠告を聴く耳をもって欲しい。

学生と違い、実社会で必要とされる社会人の定義を見つめ直すことと、

今の自分を反省する点がないか、考えるに、大変良い番組でした。

万代つばさグループ代表
発行者 八百板 誠

（ 税理士法人 万代つばさ 代表社員税理士 ）
（ 八百板誠行政書士事務所 ）

事 務 所 ： 新潟市中央区下大川前通7ノ町2230番地 （8階建の1階奥です）

025（228）4697

編集者より 記事は独自の調査分析により書き上げております。

明示、黙示にかかわらず、発行者（当事務所）がこれを保証するものではありません。